

滋賀県レイカディア大学 同窓会

甲賀・湖南支部だより

第22号

滋賀県レイカディア大学
同窓会 甲賀・湖南支部
発行責任者 鈴木 勲

表紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1

支部長就任にあたって (21期 スポレク 鈴木 勲)・・・・・・・・P2

支部長退任にあたって (31期 地域文化 森井 幸三)・・・・・・・・P2

支部活動報告

 甲賀・湖南支部定期総会 (21期 スポレク 鈴木 勲)・・・・・・・・ P3

 特別講演「甲賀忍者の子孫」 (講師 渡辺 俊経)・・・・・・・・ P4

 甲賀・湖南支部理事会 (31期 地域文化 高山 雅史)・・・・・・・・P5

 ボランティア活動部 (33期 園芸 高田 信男)・・・・・・・・P6

参加活動報告

 サポート隊主催ボランティア活動 (34期 園芸 浦田 好造)・・・・・・・・P7

同好会活動報告

 グラウンドゴルフ同好会 (22期 スポレク 木田 勝彦)・・・・・・・・P8

 里山ハイキング同好会 (32期 生活 大塚 勝義)・・・・・・・・P9

みんなの広場

 花嫁のれん乗車体験記 (34期 園芸 北阪 佳央)・・・・・・・・P10

平成29年度本部定期総会報告 (31期 地文 高山 雅史)・・・・・・・・P12

編集後記 (34期 園芸 浦田 好造)・・・・・・・・P12



支部長就任にあたって

21期 スポレク 鈴木 勲

卒業して約20年になろうとしている私に、永い間理事として皆さんの手助けをしてきましたが、支部長を引き受けて欲しいと依頼され就任しました。私の入学当時は、滋賀県及び社会福祉協議会は、地域の活動をされる担い手としてレイ大の充実が大事と力を入れてきた時代でした。今では様変わりして、超高齢化社会を迎えてボランティアの担い手になってきました。折角卒業しても、仲間との交流のないのは寂しい限りです。身近な趣味、特技を仲間と一緒に楽しめる支部に作り上げていきましょう。



支部長退任にあたって

31期 地域文化 森井 幸三

この度の総会で任期満了に伴い支部長を退任することとなりました。昨年総会で支部長の大役をうけ、不安ながらの出発でした。

大役を受けて考えたことは、理事会や各種行事の中で、折角参加頂いた方々が「楽しかったな・・・また参加しようか。」とと思っていただけるような雰囲気になりたいな、との思いでした。理事会では、活発な意見が飛び交う中でも和やかな雰囲気での終始。趣味の作品展・新入会員歓迎会・研修旅行等も多くの会員の参加を得てトラブルもなく和気あいあいの中で終えることが出来ました。参加頂いた方々の笑顔がすべてを物語っているようでした。一年間、何とか大役を全う出来ましたのも役員の方々はじめ会員の皆様方の協力のお蔭と感謝し御礼申し上げます。

後任として副支部長の鈴木勲さんが支部長に就任され、新たに副支部長として高山雅史さんが就任されました。留任された副支部長(会計)の前田松枝さんを含めた新三役で当支部を運営されます。ボランティア懇話会の提言に基づき新たな活動も提起されるでしょう。会員の皆様方のより積極的な参加で当支部を盛り上げて頂きますようお願い申し上げます退任のあいさつとします。



甲賀・湖南支部 定期総会報告

21期 スポレク 鈴木 勲

平成29年4月26日

水口中央公民館 13:00~16:00

定期総会は同窓会員115名中32名の参加で開催しました。

開会宣言後昨年亡くなられた甲賀町の岡村さんと理事の藤岡さんに黙とう。

レイカディア賛歌斉唱の後、平成28年度事業報告、会計監査報告が了承されました。

そして平成29年度の事業計画、および予算案が発表されました。

本年度の計画は支部同窓会をより身近に親しんでもらうことを第一に進めて行くことになりました。

その方法として研修旅行は遠くに出かけず親睦会的にこじんまりと費用も抑えて多くの会員が参加しやすいようにする。

またボランティア活動懇話会の活動も除草、公園の整備等会員が一斉にやる方式を検討する。広報誌(支部だより)、同好会活動(グラウンドゴルフ、里山ハイキング)などを通じて事業内容を知ってもらうなどの対策を織り交ぜながら、その他の通年行事はそのまま継続しつつ支部活動の活性化を図ることとなりました。

本年度事業方針了承後 新役員の紹介も行われました。



森井支部長の挨拶



鈴木新支部長(右)と高山新副支部長

特別講演は甲賀忍者の子孫であり甲賀忍術研究会元会長で郷土史研究家の渡辺俊経氏にお願いしました。

同氏は尾張徳川家に仕えていた甲賀忍者の子孫です。

「甲賀忍者の子孫」

渡辺氏が甲賀忍者の子孫であることが同家に伝わる文書から判明しました。そこで資料を調査した所甲賀忍者の概要がわかってきました。

甲賀忍者というのはその名に恥じぬ努力をして、江戸時代は百姓身分で経済的な苦勞はあっても甲賀武士としての矜持を失わぬように努め、知的バランスの良い甲賀武士の誇りと自負を持っていたという事でした。

多くの史料を今後公開、原本の保存、さらにもう一度家探しをしてこの存在を知ってもらいたいのが渡辺氏の希望です。

この内容の一部がBS放送でも放映されました。

プレゼン資料は42枚のスライドで非常に見応えのある丁寧な説明でした。

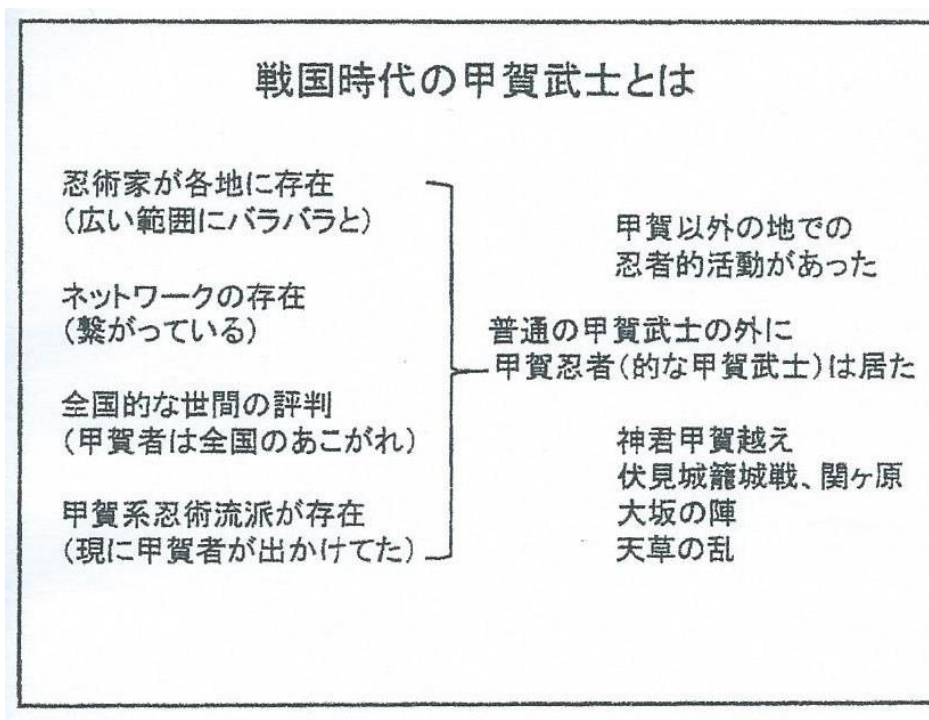
(最後の1枚を下記に転載します)

甲賀・湖南支部にとっては地元のことであり会員の皆さんは興味深々でした。

またこの後に飯田さんから「民具友の会」の会員募集の話もあり、興奮冷めやらぬ中16:00無事終了しました。



渡部俊経氏



甲賀・湖南支部 理事会報告

31期 地域文化 高山 雅史

5月16日、6月16日に水口中央公民館で開催した理事会での報告事項は次の通りです。

- 新会長あいさつ 鈴木
 - レイカディア大学同窓会本部定期総会報告 高山
- 同窓会本部本年度方針
- ※ 同窓会と学長の懇談会を持つ
 - ※ 会則検討委員会を設けて現実にあった会則に改定
 - ※ 総務部で例年実施している「地域事例発表会」、「必須講座」聴講のほかに講演会を開催したい。
 - ※ 広報部は34号会報発行とホームページのスキル講習会を行う。
 - ※ 地域活動の拡大と他団体との連携の仕方をいろいろ検討する。
 - ※ 昨年よりの継続課題として同窓会の法人化審議したい。
 - ※ 同窓会の法人化継続検討
 - ※ レイカディア大学同窓会の部屋を草津校に設置
 - ※ 同窓会の魅力に情報交換がある

又、理事会で審議した年間計画は次の通りです。

※ 体育部 田村理事

年2回の支部グラウンドゴルフ大会を7月14日と11月10日に行う
7月14日は、大河原グラウンド(かもしか荘裏)甲賀市土山町で実施。

集合時間 AM9:00 試合開始 AM9:30

会費 500円

参加者はFAXまたはメールで地区担当理事に申し込む。

※ 文化広報部 浦田理事

7月14日に「支部だより」発行。原稿締め切りは6月30日

※ ボランティア活動部 高田理事

○ ボランティアセンターへ登録したがグループならいいが個人別ではスキルを合わせるの
難しい。18名の登録はそのまま。

○ 会員全体参加の計画を作成した。水口の岡山城が国の指定になった機会にここで実施する。
実施予定は11月後半 10:00~14:00の間 甲賀市了承済み
石垣の草刈りや登山道の整備。詳細は7月の「支部だより」で発表。

○ ボランティア活動懇話会を3月に理事会と合わせて持つ。

※ 作品展、新入生歓迎会 小林理事

○ 作品展 新入生歓迎会 9月初旬に日時設定 場所 水口中央公民館
新入生歓迎会はその後講演会かグラウンドゴルフを行う。

※ 研修部 竹内理事

○ 11月22日に研修旅行を行う。次回理事会で詳細発表



ボランティア活動部報告

33期 園芸 高田 信男

1年間の経過と平成29年度「ボランティア活動の日」への参加のご案内!

平成28年度にスタートしたボランティア活動部では、27年度末に会員の中から活動が可能な登録者(18名)が確定されたのを受けて社協のボランティア保険への加入手続きを行って活動体制の準備を整えました。

その後、登録者18名と支部役員とが集まってボランティア活動の情報交換を行う「ボランティア懇話会」を開催した。第1回を7月6日に 第2回を3月7日に開催しました。

この2回情報交換の中で、ボランティア登録を甲賀・湖南の両社協に行っているものの、18人の登録者の登録内容に沿った紹介・問い合わせはなかったし、社協としても個々の登録内容にマッチングしたニーズを見つけ出すのは難しいとのことでした。

また、ボランティア保険も皆さんかなり重複していることが多いので29年度の保険加入は見合わせるとともに、一応、27年度末に両社協に登録している18名の登録は29年度もそのまましておくこととなりました。

そして、28年度の新たな取組みとして、各地区担当理事による会員のボランティア活動間取り調査を実施いたしました。その結果、個々の会員の多くが、地元や友人仲間とボランティア活動をされていることが明らかとなりました。

この実態も踏まえて、懇話会での意見交換で、既に個人が取組んでおられるボランティア活動は、更に活動の輪を広げながら頑張っておられるとされます。

したがって、同窓会支部行事として「ボランティアの日」を設定して、会員の皆さまに参加して頂いて、活動と懇親の場を計画してみようと懇話会での意見も出ました。

去る4月、平成29年度 支部事業計画の審議の結果、甲賀・湖南支部「ボランティア活動の日」を承認いただきました。

そこで、早速、実施に向けて準備を始めましたので、現段階での概要を紹介させていただきます。

実施日 平成29年11月中旬 午前10:00～午後3:00

実施場所 「水口岡山城」山麓より登山道の清掃・整備活動と歴史を学ぶ
～国の史跡指定を受けたことを機に、水口岡山城を学び、親しむ～
(市の学芸員又はボランティアガイドによる解説案内)

集合場所 水口 古城山(岡山城) 登山口

活動内容等 古城山管理者と協議中ですが、登山道の清掃及び石垣の雑草除去など無理のない範囲で行う予定です。

詳細は後日、案内文をお届けしますので多くの皆様のご参加を期待しています!



サポート隊主催ボランティア活動・参加報告

34期 園芸 浦田 好造

平成29年5月26日「サポート隊主催ボランティアの日」に賛同して参加しました。

目的は希望ヶ丘文化公園内の伐採済倒木・雑木の道路への搬出作業と運搬車への積込作業で、公園管理者の人手不足の為、作業応援が求められている内容です。約2時間の作業でした。

当初予定の5月25日が雨天の為、26日に延期になりましたが、延期に伴い参加者が約200名から約120名と大幅に減少しました。それでも元気な老人パワーが炸裂し、公園管理者の期待に応えることができたようです。

作業終了後、ピクニックランドへ移動し、バーベキューをつつきながら、新旧の学科別の懇親会を行い、楽しいひと時を過ごしました。

※私は過去3年間サポート隊の地域活動部で、ボランティア活動の主催者として活動してきました。

従来、サポート隊主催ボランティア活動は、琵琶湖の外来魚駆除を目的とした釣りを実施していましたが、外来魚の駆除が進んだ為か、漁獲量が減少していました。

その為、昨年は希望ヶ丘文化公園との協議により、伐採済倒木・雑木の道路への搬出作業を行いました。昨年は約140名の参加者がありましたが、当初、公園側としては、老人主体の作業である為、それ程期待していなかったようで、2時間ばかりの作業結果にはびっくりしたとのことでした。したがって今年は運搬車も昨年より増やしていました。



グラウンドゴルフ同好会 活動報告

22期 スポレク 木田 勝彦

平成29年度も早、半年が過ぎます。

グラウンド・ゴルフ同好会の半年間の活動状況を皆様にお伝えします。

同好会では年間大会を6回、オープン大会を1回、計7回開催しています。

平成29年度に入ってからのは活動は、2月28日に28年度の最後の大会、3月30日にオープン大会を開催しました。

オープン大会時には1年間の成績を集計して、ささやかな表彰をしております。

初心者にも考慮して参加点やハンディを設け誰でもが優勝できる配慮をして活動しています。

ちなみに平成28年度の成績は第1位：木村 栄子さん、第2位：小林 龍朔さん、第3位：木下 美恵子さんでした。

4月20日に平成29年度第1回大会、5月30日には第2回大会をそれぞれ野洲川GG場、甲南杣川GG場で開催しました。

年間計画の近々の予定は7月に土山で開催します。

四季折々の風景をバックに一打に一喜一憂しながら皆様との交流を図っています。

現在会員数は23名と少しさびしい状況です。

同窓会会員の方々にグラウンド・ゴルフをやっておられる方や、やりたいなあと思っておられる方の入会をお待ちします。

会費 : 年間500円

入会申込み : 世話役・木田 勝彦

(水口町三大寺11 ☎62-4059)

又は同窓会役員を通じて申し込んでいただいても結構です。



里山ハイキング同好会活動報告: 日向山花見と周辺散策

32期 生活 大塚 勝義

今年第1回目のハイキングは4月5日(水)に旧東海道沿いの日向山と旧和中散本舗を歩き、その後栗東自然観察の森へ行きました。

参加者は10名(奥嶋 寛、奥田浩一、奥本静子、木田勝彦、高山雅史、大塚勝義、木村栄子、植西偉文、山田尚治、浦田好造各氏)でした。

日向山の駐車場に車を置いて10分ほど歩き、旧東海道沿いにある旧和中散本舗(大角家住宅)を訪問。

和中散は慶長16年(1611)、徳川家康の腹痛を治したという靈薬を当時の当主大角与三郎清孝が処方をしたもので、特に腹痛などに効能があるとされ東海道を利用した旅人が好んで買い求め、江戸時代中期以降は東海道の名産として全国的にも知られていました。

奥さんの案内で1625年に建てられた屋敷の中を見学する。薬種商であったので玄関口は板戸で広く開け放すことができます。北面に店舗、東脇に本陣屋敷、背後に庭園、街道を挟んで隠居所があります。中には木製の大きな動輪や歯車の付いた製薬用石臼が、昔のままの姿で保存されていて又庭園も文化財として登録され整備されているので見応えがありました。天皇、大名、公家の休息所でもあり、シーボルトなどが立ち寄ったことなど細かな説明も興味深いものでした。

近くの新善光寺にも寄って、日向山に引き返し駐車場前の石室古墳を見て、登山口へ向かいました。ここから721段の石段と桜の花見の予定が、今年は1週間満開が遅れたため蕾の花見となりました。

日向山は多喜山城とよばれ、信長が六角氏に対抗するために築いた砦で、頂上には小さいながらも東西に虎口を持っていました。石段は長方形の石がきっちり頂上まで積まれ、途中3~4回の休息でやっと上にたどり着きました。

昼食時間は琵琶湖と三上山を見ながらゆっくり過ごしました。

その後車で栗東自然観察の森へ移動。カタクリ、バイカオウレン、キクザキイチゲやザゼンソウの苞を残した大きな葉などを見ながら、園内の丸太階段を上り下りしてよく歩きました。

曇り空でしたが気温が高く風もなく、低温で桜の花見が1週間も遅れたため花見は残念でしたが心配した階段歩きも皆さんの頑張りですべて無事に終わることができました。

皆さんご苦労様でした。



新善光寺



日向山



栗東自然観察の森



旧和中散本舗



9

製薬機



旧和中散本舗庭園

西日本観光列車「花嫁のれん」乗車体験記

34期 園芸 北阪 佳央



1月末に、北陸本線金沢駅と七尾線和倉温泉駅間約93kmを運行する観光列車「花嫁のれん」に乗車した。

北陸新幹線・金沢開業時、津幡～和倉温泉間は、I R石川鉄道となっている。

この観光列車は、通常、土・日に2往復運行し、平日の乗車はできない。

今回、団体旅行で、平日であったが乗車することができた。

金沢10時15分発、和倉温泉11時42分着、和倉温泉で一端降車し、車内清掃がある。折り返し和倉温泉発12時7分、金沢着13時21分の往復運転、所要時間約3時間の車内だけの旅であった。

「和と美のおもてなし」をコンセプトに設計されたという車両の各空間は、北陸の伝統工芸である輪島塗や、加賀友禅をイメージした内装、外観に驚きと感激、大いに満足した。

以下その内容を紹介する。

乗車ホームにある加賀友禅の暖簾を潜ると、観光列車「花嫁のれん」が待っている。

「花嫁のれん」は、北陸地方で見られる婚礼に用いられる暖簾で、加賀友禅で仕立てられ、図柄の代表は鶴亀という。車両は気動車で<キハ48 4>と<キハ48 1004>の2両編成であった。

1号車の出入り台を入ると、輪島塗の伝統的な図柄と金箔を用い「和」をデザインされた室内に、伝統工芸品が展示されている。「加賀水引」「輪島塗」「加賀手まり」等加賀百万石の伝統文化が生み出した豊富な数々の中から厳選された逸品という。その後方には、お土産を販売している物販スペースになっている。



客室は、8つの半個室があり、ゆったりとくつろぎの旅を楽しめるよう加賀友禅の模様をあしらった空間となっている。

半個室とは完全に室として仕切られているのではなく、写真にある丸棒のような柱で、仕切れ隣の部屋が見えるようになっている。各部屋にはそれぞれ命名されており、定員も異なる。



「桜梅4名」「撫子4名」「扇絵3名」「鉄線2名」「菊2名」

「笹3名」「錦秋2名」「青4名」の合計8室、24席となっている。部屋の配列は、S字状の通路で仕切れ、日本庭園の飛び石をイメージした絨毯が敷かれている。

2号車は、3列座席が主で、一部窓向きに座れる座席配置となっている。流水をイメージした通路で仕切られている。

座席は、紅色の生地と背面の木の格子が特徴の回転イス、内装は1号車と同じく輪島塗の図柄である。



2号車では、通常金沢市周辺の市町が伝統芸能の披露や地元産品の販売をする「楽市楽座」が催される。当日は、臨時列車のためイベントはなく、テレビに沿線の田植え風景が映し出されていた。

車内では、アテンダントさんがいろいろなおもてなしをしてくれる。「花嫁のれん」や伝統工芸品の説明、花嫁のれんと大書したパネルをもって記念撮影、乗車記念ノートの紹介等・・・



当然、おみやげ物の販売、弁当の配膳等も行う。復路では、和軽食がふるまわれた。加賀屋総料理長の監修という。紅ズワイ蟹とマスの押し寿司等能登特産の食材で、酒もおいしい。

約3時間の乗車で、外の景色よりも車内の空間に感激し、心からよかったと思う旅でした。

今や、旅行は観光列車ブーム、JR九州の「七つ星」をはじめ、今年にデビュー予定のJR西の「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」、JR東の「TRAIN SUITE 四季島」等、豪華（高価）列車には一度は乗りたいものである。



平成29年度本部定期総会報告

31期 地域文化 高山 雅史

平成29年度レイカディア大学同窓会本部定期総会が5月16日(火)にレイカディア大学草津校大教室で開かれました。

平成28年度事業経過が報告され、本年度の事業計画が慎重審議により承認されました。

その後記念講演で「一代の英雄 秀吉と近江」について成安造形大学・文教短期大学の非常勤講師中嶋誠一氏よりお話を伺いました。

本部各事業部会の今年の活動計画が以下のように決まりました。

総務部会

- ① 平成29年度本部定期総会の開催
- ② 学長との懇談会を持つ
- ③ 同窓会 会則の改定検討

研修部会

- ① 第10回 地域活動事例発表会の開催
- ② 「必須講座」の聴講の開催
- ③ 講演会の開催をやりたい

広報部会

- ① 「會報第34号」の発行
- ② HP作成のスキル向上と内容の支部間格差是正を図りたい
- ③ 同窓会入会案内の作成

地域活動部会

- ① 地域活動の拡大を計る
- ② 各支部及び行政機関等各種団体との連携推進する

審議終了後中嶋氏の講演があり、秀吉と長浜城にまつわる伝承と証明する文書の関連について、長浜城築城以前の資料の少ないことなどが江戸時代の秀吉のサクセスストーリーの元になっていることなど興味深い話でした。

編集後記

34期 園芸 浦田 好造

今回、諸般の事情により、広報作成を初めて担当することになりました。

今迄、他支部の広報に目を通したことがありませんでしたので、この機会を捕え、ざっと目を通してみました。その結果は、題字、記事内容、発行時期、発行頁数等がまちまちで、各支部独自の方針で発行されていました。

したがって、「甲賀・湖南支部だより」も、独自の編集方針で臨んでいって良いとの感触を得ましたが、支部会員の要望に沿った内容にすべきと考えます。

今回の22号は、先輩の親切な指導の下、従来の方針で作成しましたが、今後はできるだけ会員の要望を捕え、それに応えられる内容にしたいと思います。

特に、巷でも話題になっている「クラス会は盛んであるが、同窓会はもうひとつ」という状況を改善する一助になればと思いますので、皆様方の支援をよろしくお願い致します。

